

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
外国事情		大野 誠 (他)	演習	2	1年後期～ 2年前期
必修・選択	修了要件	必修			
	資格要件				
学習目標	<p>進展する国際化の中では、広い視野を持ち、国を越えて相互に理解し合うことが大きな課題となってきた。また国際社会では、自分自身の座標軸を明らかにし、相手の立場を尊重しながら、自分の意思や考えを伝えることのできるコミュニケーション能力が必要になってくる。「外国事情」では、さまざまな体験的学習を通して、我が国の伝統ある歴史や文化を身につけ、異文化を理解しながら、国際社会の中で尊敬される「人」を目指し、自己の確立を図る。</p>				
授 業 計 画					
回	項目	授 業 内 容			
1	国際理解について	国際理解のあり方、海外研修の意義を述べる			
2	日本人からみた外国	外国での生活体験を通しての文化、習慣のギャップを調べ、国際理解を深める			
3	外国人からみた日本	日本で生活する外国人からみた日本の文化、習慣及び日本における生活体験を見聞きし、国際理解を深める			
4	食文化の理解	(1) 西洋料理テーブルマナー (西洋の食文化の理解とテーブル作法) (2) 日本料理食卓作法 (日本の食文化の理解と食卓作法)			
5	事前研修	海外研修参加希望者は事前研修に参加する	海外研修に参加しない者は、レポート作成の準備学習をする		
6	海外研修訪問国の理解	海外研修訪問国の自然・文化・社会についての理解を深める			
7	海外研修訪問施設の理解	専門職業人が活躍する施設を文献等で調査する			
8	海外研修の準備	海外研修の計画に基づいて、班別に準備する			
9	海外研修の実際 (1)	海外研修に参加 (希望者) (1) 班別行動 (2) 異文化理解 (3) 施設訪問 (4) ホームステイ (5) 訪問先での研修	海外研修に参加しない者は、国際理解を深めるためのテーマを決め、レポートを作成する		
10	海外研修の実際 (2)				
11	海外研修の実際 (3)				
12	海外研修の実際 (4)				
13	海外研修の実際 (5)				
14	発表会	研修の成果の発表			
15	反省会	クラス内での討議			
参 考 書					
学習上の注意 (自己学習、学外学習など)	さまざまな制約の中で工夫し、他者と協力する。(One for all, all for one) 目標を定め、積極的に行動し、反省する。健全に生きるための健康管理や体力増進を図る。				
評価の方法と時期	事前事後の学習状況、態度、研修中の活動状況や学習の過程、レポートや発表などに見られる学習の状況や成果などについて、学習に対する意欲・態度・行動の状況などを踏まえて総合的に評価する。				